

開催日時	平成24年12月17日	開催場所	管内建設工事現場
参加人数	29名(10機関)	主催	佐世保労働基準監督署 江迎労働基準監督署

研修会(パトロール)開催の目的(趣旨)

県北地区での建設業の労働災害は、平成24年11月末現在で45件発生しており、このうち、「墜落・転落災害」が全体の約30%を占めています。また、公共工事の発注が集中する年末から年度末にかけて労働災害が多発傾向にあります。このため、佐世保及び江迎の両労働基準監督署は、県北地区の公共工事を発注する機関と合同で足場の点検方法を中心とした現場パトロールを実施するとともに、労働災害防止対策の推進及び安全意識の高揚を図ることを目的とした研修会を開催しました。

研修会(パトロール)の概要

公共工事発注機関実務担当者研修会では、開会にあたり佐世保署の永川署長が、参加者に対し今回の研修会を参考として施工方法や工期等で安全衛生に配慮した条件での発注をお願いする旨挨拶しました。引き続き、江迎署の監督安衛課長より労働災害発生状況、足場等からの墜落防止対策などについて説明を行いました。

次に、全国仮設安全事業協同組合九州支部(以下、「仮設組合」という。)からは、パワーポイントで作成した資料を活用して、足場床材の取付け状況や幅木、手すりの高さ及び固定状況などの足場点検等について説明がありました。

その後、参加者全員で墜落・転落防止対策を重点とした現場パトロールを行い、仮設組合の担当者から足場の二段手すり、幅木、ネットの設置状況などの点検ポイントについて説明を受けました。

